

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	平成27年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は今年の8月で開設12年目を迎えます。温泉や緑に囲まれ入居者様もお元気で過ごされています。去年は、ちまき作りも復活し家族会でご家族の皆様にお配りする事ができました。もちろん各ユニットの入居者様と職員で一生懸命作りました。冬は恒例の餅つきを、地域の老人会、婦人会の方々と行いました。蕎麦打ちは職員で行い入居者様と一緒に作り、夕食の献立になりました。恒例の行事も行っていきますが、途絶えてしまった行事を復活し生活に張り合いを持って頂けるよう職員一同支援させて頂いています。日頃からの体調管理に気を付け、異常の早期発見・早期対応に努めています。看護師・主治医とも連携を取りながら入居者様の健康管理に心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは温泉の湧きでる自然豊かな地域にあり、3ユニットの事業所である。
- ・地域行事に積極的に参加したり、事業所の行事の餅つき大会や焼き肉大会・敬老会などにも多くの地域住民の参加がある。管理者がライフサポートワーカーとして認知症の相談を受けたり助言などをしたりして、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。
- ・利用者個々人の習慣や楽しみを把握し、書道やはり絵・ぬり絵・ちまき作りなど、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎朝申し送りの際、事業所の理念を声に出し読み上げています。職員一人ひとりが理念を頭に入れ入居者様と接するように努めている。</p>	<p>開設当初に、職員で話し合った独自の理念と、その月の目標を事業所内に掲示し、朝礼で読み上げミーティングや勉強会等で話し合いケアに繋がるように実践を図っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>冬の餅つきなどの行事の際、地域の方との交流はあるが入居者様の目線でもっと交流が増やせるように努めている。</p>	<p>夏祭りなどの地域行事に積極的に参加する一方、そば打ちや餅つきなどの事業所の行事にも多くの地域住民や家族の参加がある。園児との交流や高校生の実習・教職員の研修・ボランティアの受け入れなども行っている。地域住民に野菜を頂く等、地域との交流が盛んである。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>管理者が霧島市のライフサポーターワーカーなので、電話や訪問での相談は積極的に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で出された意見を参考にしサービス向上に取り組んでいる。</p>	<p>当会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告をし、併せて活発な意見交換が行われている。会議における助言で避難用スロープが設置されたり、火災報知機等の設置など、具体的な改善に活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>認定更新時や生活保護の介護券を市役所に提出の際、日頃の状況を伝えています。特に生活保護の方が通院・入院となった場合は、すぐに連絡を入れ報告している。</p>	<p>市の担当者とは認定更新の機会等に情報を交換し、相談をしたり意見を貰っている。生活保護の担当者とも連携を取り合っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日常生活の中での入居者様の行動を頭に入れ、想いに添ったケアを心がけ身体拘束のないケアに努めている。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会の定期的な研修会や全体及び各ホールでの勉強会を実施し、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所や法人内で勉強会を実施し、常に虐待が見過ごされる事がないよう日々、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の在り方や知識を管理者が職員に理解できるように話し、仕事の中で活かせるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に、ユニットの責任者・管理者が責任を持って説明を行っています。不安や疑問点があった場合は、納得されるまで時間をかけて行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や家族会の際、ご意見や要望をお聞きしています。意見箱も設置し多くのご意見要望の収集に努めている。	利用者からは日々の関わりの中で、家族に対しては、意見箱の設置や家族会と同時に開催される食事会を行ったり、面会時や運営推進会議等での話しやすい雰囲気作りに努めている。出された意見や要望等は職員で話し合い反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各ユニットミーティングや全体ミーティングの際、管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員は、前以て考えてまとめておくように申し送っている。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図り、全体ミーティングやユニットミーティングの時に職員の気付きや提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。提案により、早番が出勤してから朝食をつくるなど、具体的な改善に活かされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を年2回行い職員の就業意欲・向上心を高められるよう取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の苑内研修への参加や外部への研修参加が出来るよう取り組んでいる。研修で習得した内容を現場で活かせるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市連合会主催の勉強会やレクリエーションに積極的に参加を呼びかけ交流図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お互いを尊重し合い関わりを多く持つようにしている。不安な事や要望には説得より納得して頂ける関係づくりに心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の際、ご家族の意見や不安な事をお聞きし、少しでも解消できるように努めている。面会時等で関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時に必要とされる支援を家族と一緒に考え支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入浴の着脱等ご本人が出来る事はして頂いています。すべてを支援するのではなく一緒に出来る事を探しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の絆を大切にしながらに他の入居者様ともコミュニケーションが図れるよう、より良い関係性が築けるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所や人との関係性が途切れないようお墓まりや外出の機会を設け支援しています。	馴染みの友人や知人が野菜など持ったの訪問がある。利用者の希望により個々に墓参りや馴染みの場所へのドライブ等行っている。家族の協力を得て馴染みの場所や人との関係が継続するように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士でゲームや歌、計算問題等それぞれが出来るレクリエーションを考え関わりのある関係性をつくっている。たまに外でお茶を飲む機会を設け関係性を深めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方でも、職員が面会に行きご家族とも季節の便りの交換を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	不自由な面などの要望に応え、より良い環境作りが出来るように支援している。	入居時や面会時、日々の生活の中での表情や言葉などから本人の思いや意向の把握に努めている。把握が困難な場合は職員間で情報を共有し、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の会話やご家族との会話の中からその方の今までの生活や環境を把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、入居者様お一人おひとりの健康状態を把握し、職員間で共有できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員、入居者様、ご家族それぞれ計画書を確認し、その都度最新の情報を反映させながら介護計画書を作成している。モニタリングで次回更新時のサービスの見直しを行っている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の指示や職員の意見を基に、各ユニットの責任者が個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の記録は記入はもちろんその他に職員間で情報を共有するためのノートを活用し実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ある一定の周期で職員の担当する入居者様を変更する事で入居者様全員のケアプラン・サービスを確認している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所近辺の散歩や散策を実施する事で、地域の方との交流が図れるよう支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前とかかりつけ医が変更になった場合でも、情報提供書などを通して入所前と変わらない医療が受けられるように支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。入所後に変更になった時も情報連携を密にしている。通院は家族の協力を得ながら支援している。協力医療機関の定期的な往診もある。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき、状態変化に対応してもらっていた。訪問看護の看護師とは何でも相談できる関係にあり心強かった。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	毎日、面会に行き洗濯物の入れ替えを行いご家族に負担のない支援を行っている。病棟看護師や先生と話す機会を作り情報交換を常にし連携や関係づくりを図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合を想定しご家族と話し合い、意思確認書を作成して頂いている。事業所で出来る事を説明し主治医と連携を図り支援している。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴いその都度説明し、本人や家族の意向を確認し、医師や看護師を含む関係者の連携のもと、事業所で広く支援している。看取りの事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内や事業所内で消防署じぎょうしょの指導のもと勉強会を行っている。AEDも各ユニット持ち回りで使い方を確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所で自主避難・通報・消火訓練を行っている。年一回消防署との合同でも訓練を行いアドバイス、指導を受けている。</p>	<p>消防署立会いのもと、また自主訓練で昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや防災用の滑り台も設置されている。消火器やAEDの使い方の訓練も行っている。地域住民や家族との協力体制もできている。災害時の食糧等の備蓄も完備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常にその方の身になり自分（身内）に置き換えて言葉遣いには十分気を付けている。	個々人を尊重する言葉かけやプライバシーに留意した対応を心がけている。特に入浴やトイレ誘導などでは、プライドを損なわないよう配慮している。名前も本人や家族の希望する呼び名で呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いをお尋ねし言葉遣いや行動に気を付けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に時間を決めるのではなく、ご本人がなさりたいことをお聞きし寄り添っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お一人おひとりの個性を重視しその人らしさを大切にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と一緒に食事を摂りながら味付け等の好みをお聞きし提供している。片付けは出来なくてもお茶碗を重ねるなどのお手伝いをお願いしている。	利用者の楽しみになるよう、希望に添った献立を工夫し、誕生会やひな祭りなど季節の行事食等も工夫している。利用者も可能な範囲で職員と一緒にやっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の中には、塩分、水分制限が必要な方がおられる。その方に関しては主治医と相談しなるべくご本人の意向に沿った食事を提供しています。他の入居者様も同様、お好みをお聞きしながら提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後の口腔ケアは必ず行って頂けるよう声かけを行っている。ご自分でなかなかされなかったり、出来な方は職員の方で介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は、排泄記録に基づいて、食前・食後、特に日中は声掛けを行いトイレでの排泄習慣の自立支援を行っている。	個々の排泄パターンや習慣を把握し、チェック表を作り、さりげなく声かけをしトイレでの排泄を大切にしている。自立を目指しており、おむつの利用者はいない。繊維質の多い食物摂取などで食生活を工夫し、自然排便を大切にしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分に気を付け、排泄記録の中で声掛けの時間を見計らって誘導している。食事の中にも繊維の多く入った野菜を取り入れ便秘予防に努めています。排便困難の方には主治医より処方されている下剤を使用し、対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴は、いつでも入れるように準備は常に行っている。一応曜日を決めてはいるが、入りたい時に入って頂けるように対応している。</p>	<p>入浴は基本的には週3回であるが、かけ流しの温泉を引いており、体調や希望に添っていつでも入浴できるよう対応している。身体状況により、リフト浴でも支援している。入浴を拒む人にも声かけや時間など工夫して、入浴を楽しめるよう支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>居室でゆっくりされたい方、ホールの畳で休みたい方等、入居者様が安心できる場所で休んで頂けるよう準備対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員に薬の必要性、目的を理解してもらい内服の変更があった場合は申送りし症状の変化の確認を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>事業所の行事でちまき作りや餅つき、そば打ちの際お手伝いを頂き一緒に作っている。レクリエーションの際も役割を持って頂き一緒にやっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	なかなか日常的に外出は出来ていない。病院受診をされる際は気分転換も図れてはいるが希望通りには出来ていない。今年の初詣ではインフルエンザ・嘔吐下痢症の流行の為お参りできなかった。	日常的には、体調などを考慮して近隣の散歩をしている。計画を立てて花見や運動会や夏祭りなど地域の行事の見物に出かけることも多い。車椅子移動のため、場所が限られてくる場合もある。家族の協力も得て外出や墓参・外食等にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使つての買い物なかなかできていない。法人内での夏祭りの際はお一人おひとりの財布からの買い物が出来るよう支援している。たまに、ラーメンを食べにお連れすることもあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族に電話を掛けたいとおっしゃったり送り物が届いた際は、電話でお話しできるように支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでの座る場所は入居者様が落ち着ける場所を一緒に探し配置しています。トイレ、ホールにはカレンダーを飾り洗面台には月の行事を貼るなどの工夫を行っています。	共用の空間は換気や採光に配慮している。温度や湿度も管理され清潔である。周囲には利用者の写真や作品が飾り付けてあり、季節を感じさせる。トイレと浴室も広く、使い心地がよい。台所はホールが見渡せる作りになっている。椅子も多くゆったり過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにある畳の場所が皆様とてもお気に入りの様子で、思い思いに過ごされています。天気の良い日はそこでお昼寝をされる方もいらっしゃいます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>お部屋にご自分の使い慣れた物を置き、居心地の良い空間を作られている。ラジオなどの置き場所にもこだわりがありそれぞれ工夫されている。衣類などはハンガーラックを活用し収納されている。</p>	<p>居室はベッドや洗面台・タンスが備え付けである。個々の部屋は広く、家具や寝具・仏具・絵・習字・写真・時計など、本人が使い慣れた品物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、落ち着いて生活できる配慮がなされている。ナースコールも装置してある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子で自走できる方は、安全に移動できる環境整備に努めています。自立歩行される方も同様に通路に障害物が無いよう注意を払っています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない